

# 徳島市立2年ぶりV

## 男子は城南4年連続

### 卓球

#### 卓球の2018年度徳島県高校新人学校対抗大会は9日、徳島市のとくぎんトモニアリーナで団体戦が行われ、15校16チームで争った女子は、徳島市立が2年ぶり11度目

の優勝を飾った。26校44チームが出場した男子は、城南が4年連続6度目の栄冠に輝いた。

【男子】1回戦、勝部C3-1つぎA、鳴門B3-0新野、阿南1-阿南光3-1小松島、徳島商C3-1鳴門C、勝部B3-0阿波、海部B3-2池田、B、勝部B3-2小松島、阿南吹つきA3-0海部、徳島

市立3-0勝部、池田A3-11城東、川島3-1阿南工・阿南光、徳島科技3-1那賀、勝部A3-1阿波西、鳴門A3-1海部、阿波A3-1阿南工・阿南光、徳島商A3-1鳴門、鳴門B3-0阿南工・阿南光、勝部B3-1徳島商C、つぎA3-1板野、徳島市立3-0池田、徳島科技3-1川島、勝部A3-2鳴門、徳島商A3-0阿波、準々決勝、城南3-0鳴門、つぎA3-0勝部、徳島市立3-2徳島科技、徳島商A3-0勝部、準決勝、城南3-1

1つぎA、徳島商A3-0徳島市立、3位決定戦、徳島市立3-2つぎA  
 ▼決勝  
 城南3-0徳島商A  
 谷3-0  
 島3-1井乾  
 谷3-1有佐  
 伯3-1有佐  
 藤川上  
 【女子】1回戦、徳島市立3-0川島、城南B3-0富岡東、鳴門B3-0徳島北、富岡西3-0穴吹、城南A3-0小松島、城北3-0阿波、勝部3-1城東、徳島商3-0海部、準々決勝



女子決勝・徳島市立対徳島商 ダブルスでストレート勝ちし、優勝に貢献した徳島市立の寺本⑤・秦組①ととくぎんトモニアリーナ（家段良匡撮影）

## 全国総体目標に団結 徳島市立

女子の徳島市立は1回戦から決勝まで4試合全てストレート勝ちし、2年ぶりの頂点に立った。

昨年王者の徳島商との決勝でチームを勢いづけたのが第1シングルの1年・板東。相手のエース森影には昨夏対戦し惜敗していたが、気負いなく3-2と粘り勝ちした。「周りの声援もあって集中していた。焦らず落ち着いてレシーフできたのが良かった」と勝因を語った。

3-0で優勝を決めたダブルスの寺本・秦組は連係が光った。寺本の巧みなサーブで相手レシーフを崩し、秦が強烈なスマッシュを打ち込む。寺本が「しっかり相手を見てコースを狙った」と振り返ると、秦も「競り合っても声を掛け合い、焦らずにプレーできた」と笑顔を見せた。

1週間前の選抜大会四国予選で全国切符を逃したばかり。郡主将を中心に「もう一度みんなで頑張ろう」と気持ちを切り替え、団結した。郡主将は夏の全国総体出場を目標に据え、「練習の質を高め、夢を果たしたい」と意欲を新たにしていた。

（平尾貴宏）